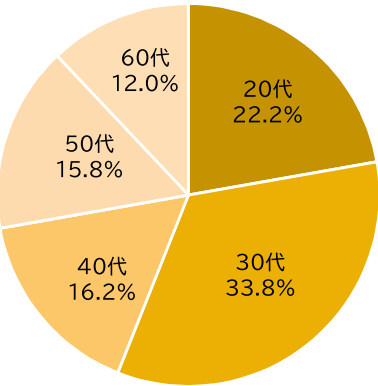


02 フルタイム教員(中学校)用

02フルタイム教員(中学校)用 学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方に関するアンケート 集計結果

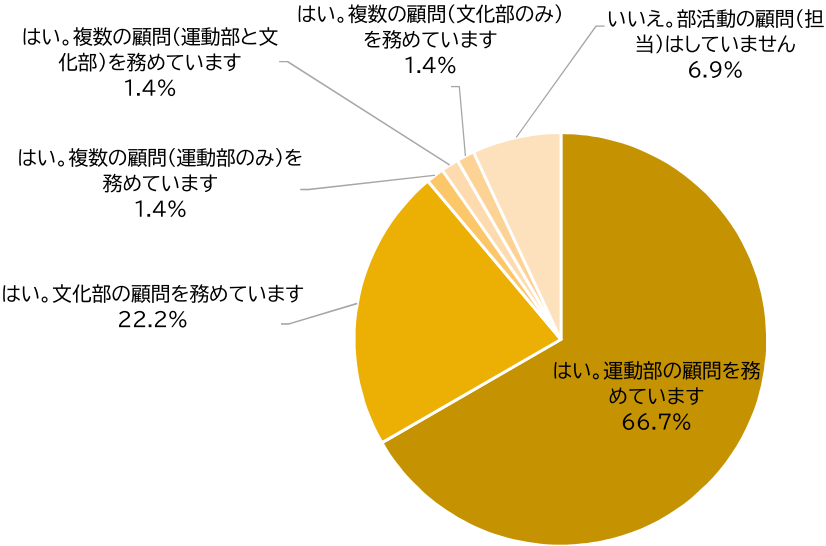
Q1. あなたの年代をお答えください。

選択肢		回答件数
1	20代	48
2	30代	73
3	40代	35
4	50代	34
5	60代	26
合計		216



Q2. 現在の勤務校において、部活動顧問をされていますか。

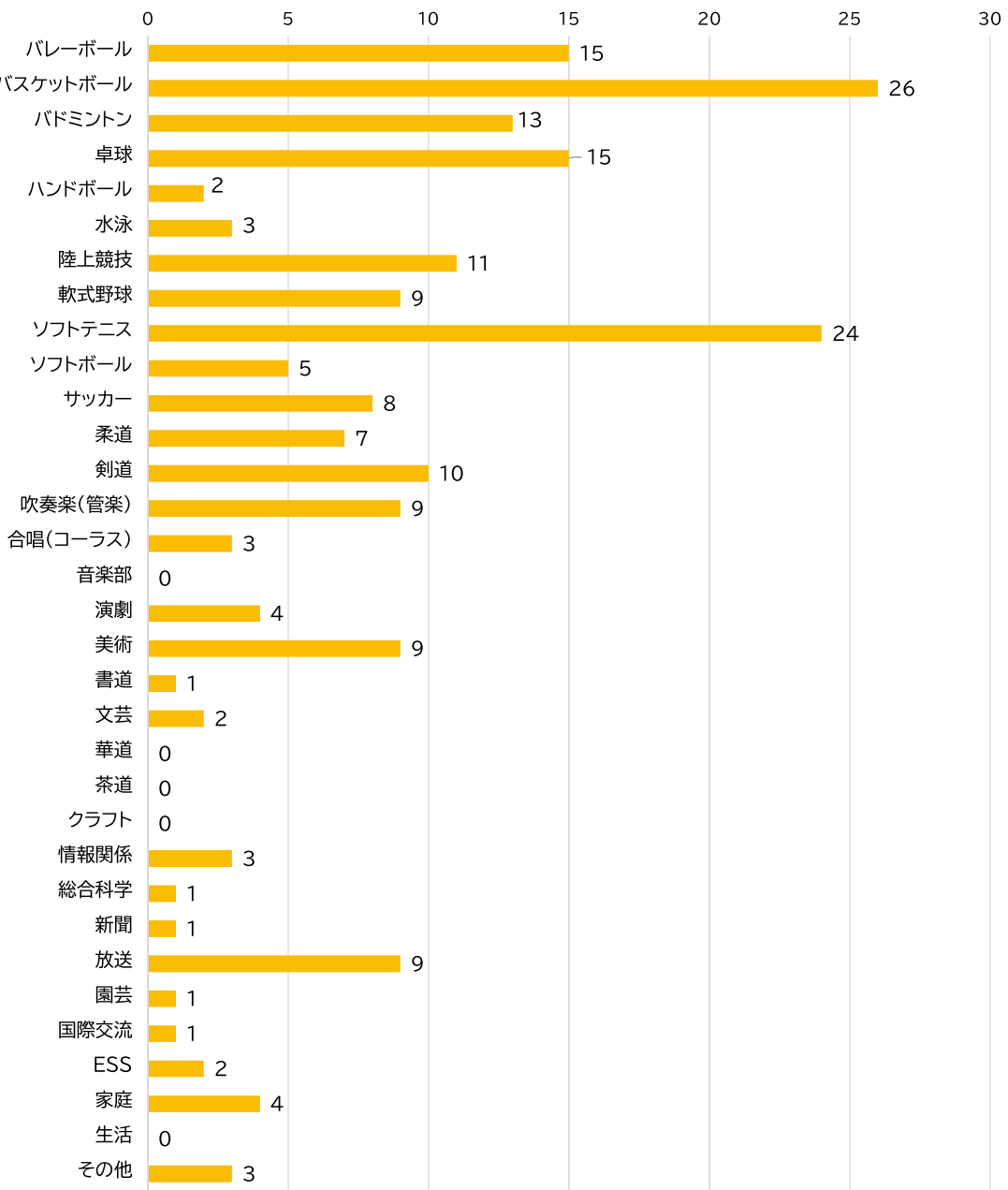
選択肢		回答件数
1	はい。運動部の顧問を務めています	144
2	はい。文化部の顧問を務めています	48
3	はい。複数の顧問(運動部のみ)を務めています	3
4	はい。複数の顧問(運動部と文化部)を務めています	3
5	はい。複数の顧問(文化部のみ)を務めています	3
6	いいえ。部活動の顧問(担当)はしていません	15
合計		216



Q3. 現在の勤務校において、顧問を務める部活動の種目は次のどれになりますか。
※Q2で複数の顧問を務めていると回答した方は、主たる部活動1つについてお答えください。

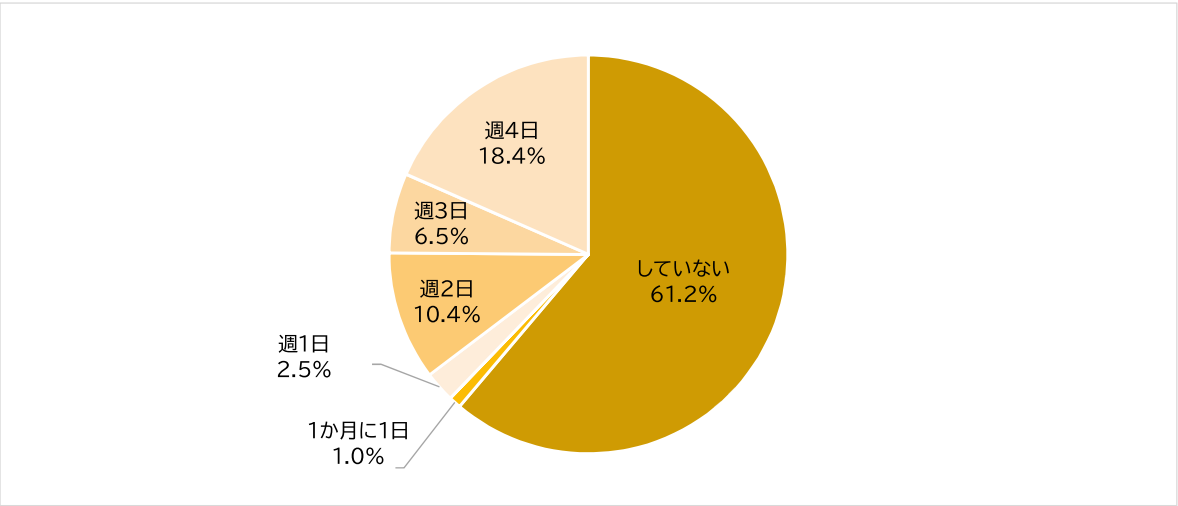
	選択肢	回答件数
1	バレーボール	15
2	バスケットボール	26
3	バドミントン	13
4	卓球	15
5	ハンドボール	2
6	水泳	3
7	陸上競技	11
8	軟式野球	9
9	ソフトテニス	24
10	ソフトボール	5
11	サッカー	8
12	柔道	7
13	剣道	10
14	吹奏楽(管楽)	9
15	合唱(コーラス)	3
16	音楽部	0
17	演劇	4
18	美術	9
19	書道	1
20	文芸	2
21	華道	0
22	茶道	0
23	クラフト	0
24	情報関係	3
25	総合科学	1
26	新聞	1
27	放送	9
28	園芸	1
29	国際交流	1
30	ESS	2
31	家庭	4
32	生活	0
33	その他	3
	合計	201

その他(3):美術、情報技術のどちらもサブです。、硬式テニス,回答なし



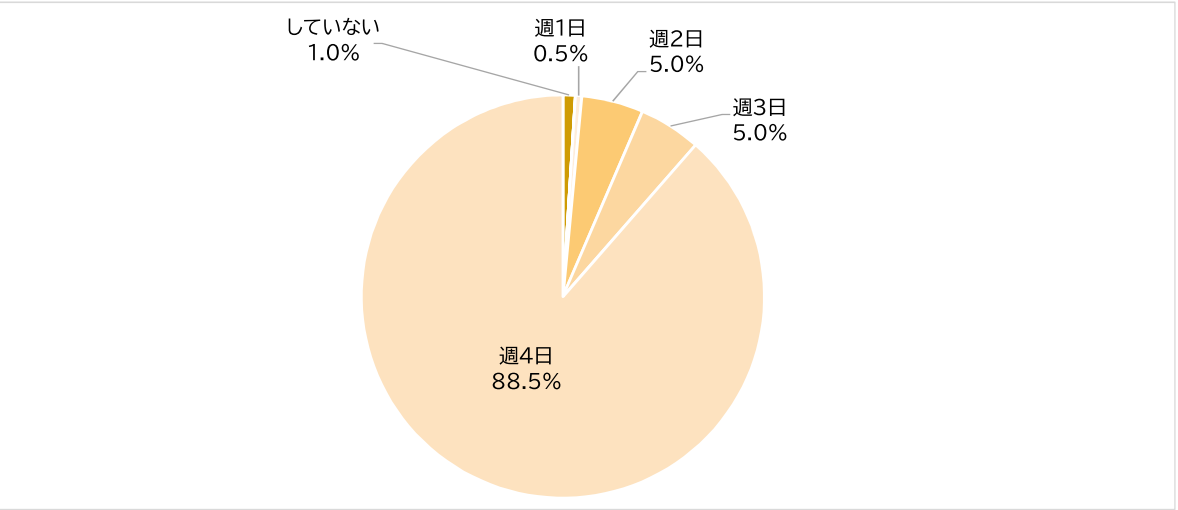
Q4-1a. 上記Q3で回答した部活動に係る朝練習の練習日数(大会や練習試合を除く)を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	123
2	1か月に1日	2
3	2週間に1日	0
4	週1日	5
5	週2日	21
6	週3日	13
7	週4日	37
合計		201



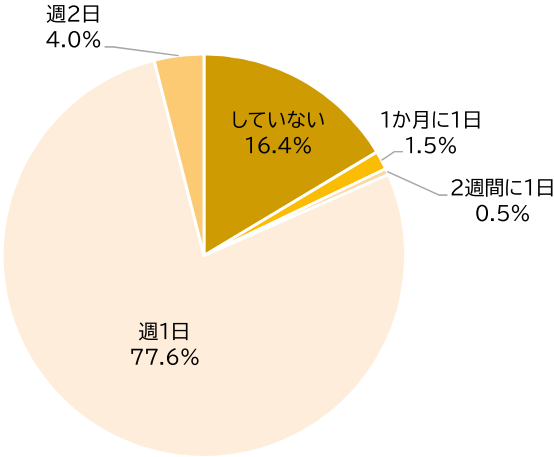
Q4-1b. 上記Q3で回答した部活動に係る平日練習の練習日数(大会や練習試合を除く)を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	2
2	1か月に1日	0
3	2週間に1日	0
4	週1日	1
5	週2日	10
6	週3日	10
7	週4日	178
合計		201



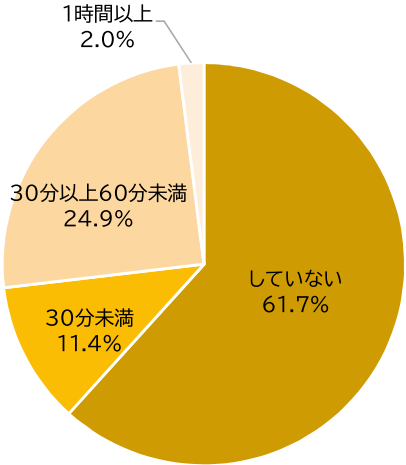
Q4-1c. 上記Q3で回答した部活動に係る休日練習の練習日数(大会や練習試合を除く)を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	33
2	1か月に1日	3
3	2週間に1日	1
4	週1日	156
5	週2日	8
合計		201



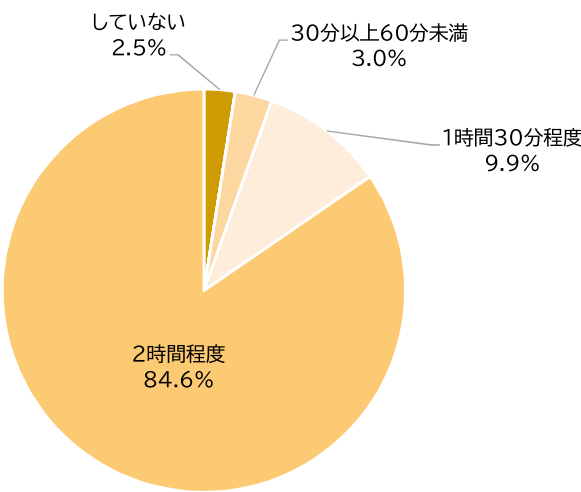
Q4-2a. 上記Q3で回答した部活動に係る朝練習での練習時間(大会や練習試合を除く)を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	124
2	30分未満	23
3	30分以上60分未満	50
4	1時間以上	4
合計		201



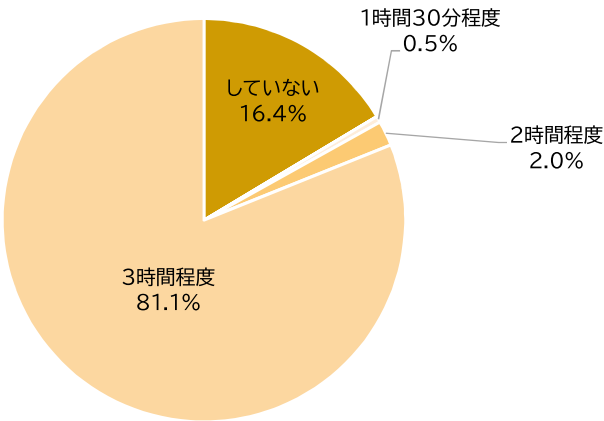
Q4-2b. 上記Q3で回答した部活動に係る平日練習の練習時間(大会や練習試合を除く)を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	5
2	30分未満	0
3	30分以上60分未満	6
4	1時間30分程度	20
5	2時間程度	170
合計		201



Q4-2c. 上記Q3で回答した部活動に係る休日練習の練習時間(大会や練習試合を除く)を教えてください。

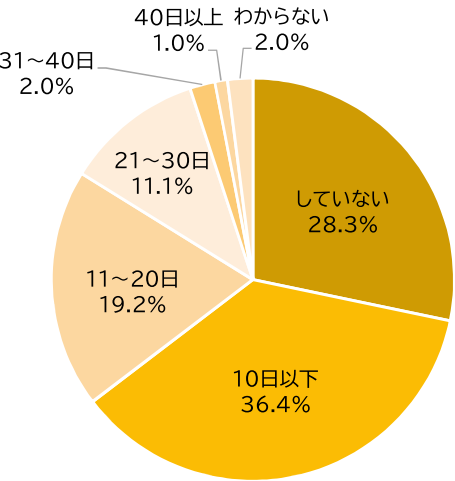
選択肢		回答件数
1	していない	33
2	30分未満	0
3	30分以上60分未満	0
4	1時間30分程度	1
5	2時間程度	4
6	3時間程度	163
合計		201



Q5-1. 上記Q3で回答した部活動に係る自校外での年間の練習試合日数を教えてください。
【記入例】10

選択肢		回答件数
1	していない	56
2	10日以下	72
3	11～20日	38
4	21～30日	22
5	31～40日	4
6	40日以上	2
7	わからない	4
合計		198

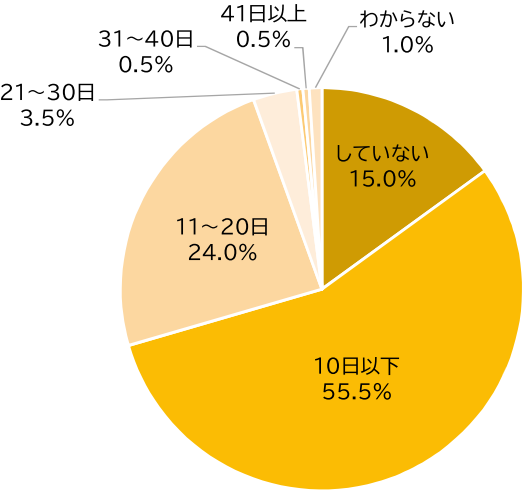
※無効票(回答なし,複数回答等) 3



Q5-2. 上記Q3で回答した部活動に係る自校外での年間の大会日数を教えてください。【記入例】10

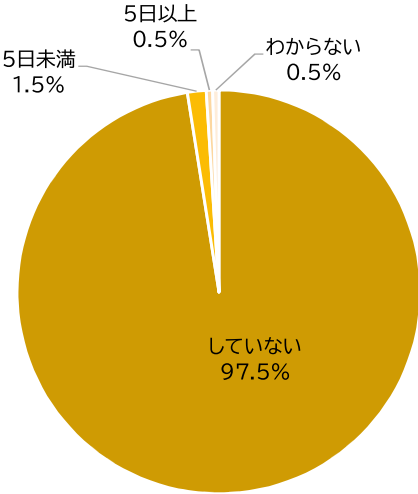
選択肢		回答件数
1	していない	30
2	10日以下	111
3	11～20日	48
4	21～30日	7
5	31～40日	1
6	41日以上	1
7	わからない	2
合計		200

※無効票(回答なし,複数回答等) 1



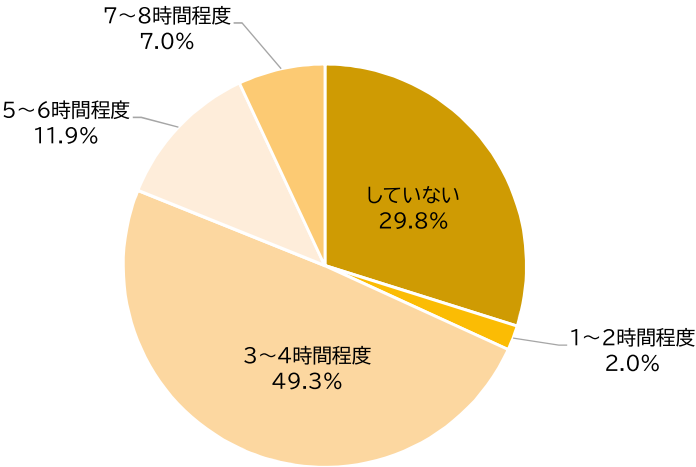
Q5-3. 上記Q3で回答した部活動に係る自校外での年間の合宿日数を教えてください。【記入例】10

選択肢		回答件数
1	していない	195
2	5日未満	3
3	5日以上	1
4	わからない	1
合計		200
※無効票(回答なし,複数回答等)		1



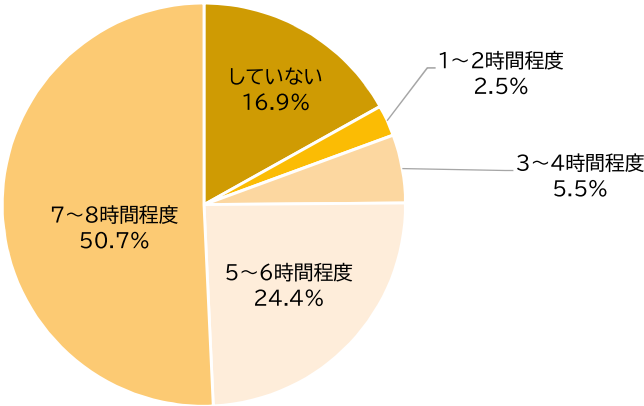
Q5-4a. 上記Q3で回答した部活動に係る自校の活動のうち、練習試合の活動時間を教えてください。
【記入例】10

選択肢		回答件数
1	していない	60
2	1～2時間程度	4
3	3～4時間程度	99
4	5～6時間程度	24
5	7～8時間程度	14
合計		201



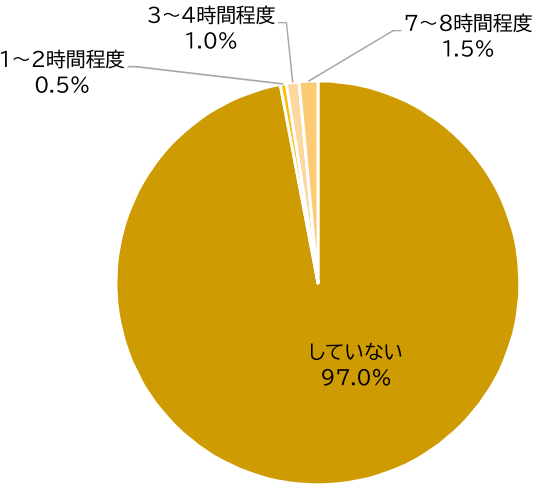
Q5-4b. 上記Q3で回答した部活動に係る自校外での活動のうち、大会時の活動時間を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	34
2	1～2時間程度	5
3	3～4時間程度	11
4	5～6時間程度	49
5	7～8時間程度	102
合計		201



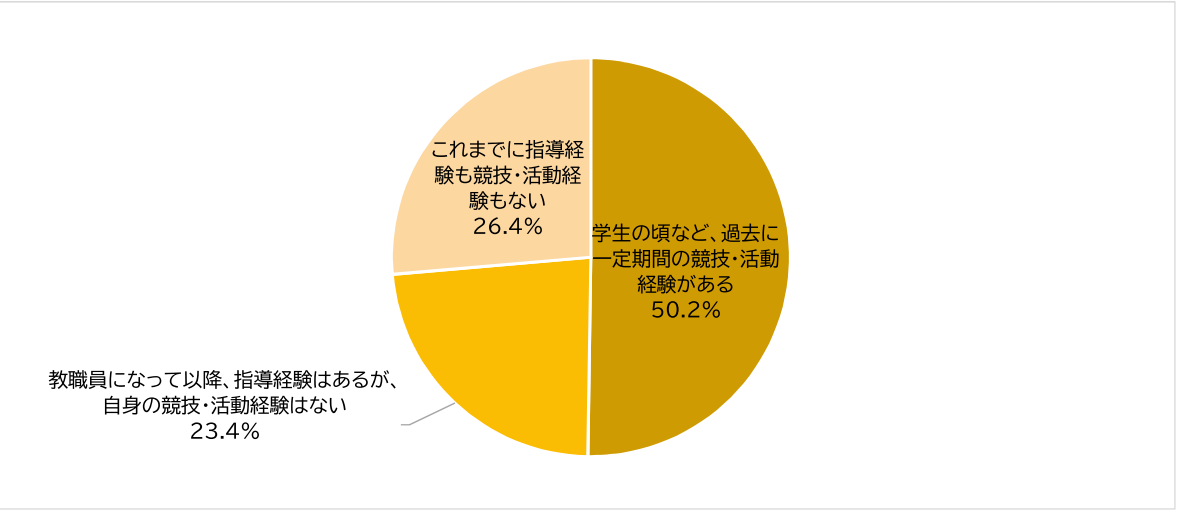
Q5-4c. 上記Q3で回答した部活動に係る自校外での活動のうち、合宿時の活動時間を教えてください。

選択肢		回答件数
1	していない	195
2	1～2時間程度	1
3	3～4時間程度	2
4	5～6時間程度	0
5	7～8時間程度	3
合計		201



Q6. 上記Q3で回答した部活動について、あなた自身その種目の競技・活動経験、指導経験はありますか。

	選択肢	回答件数
1	学生の頃など、過去に一定期間の競技・活動経験がある	101
2	教職員になって以降、指導経験はあるが、自身の競技・活動経験はない	47
3	これまでに指導経験も競技・活動経験もない	53
	合計	201



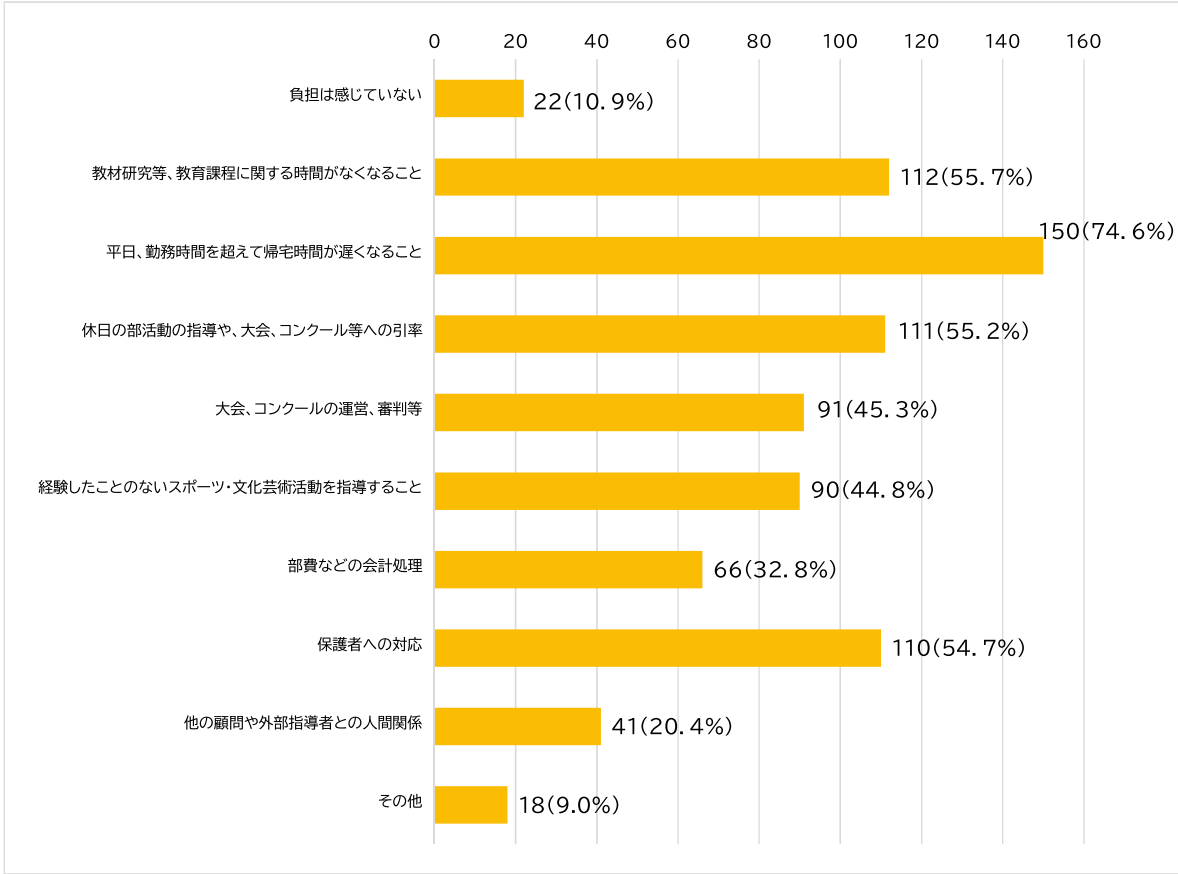
Q7. 部活動の顧問をしている中で、どのようなことを負担に感じますか。(複数回答可)

	選択肢	回答件数
1	負担は感じていない	22
2	教材研究等、教育課程に関する時間がなくなること	112
3	平日、勤務時間を超えて帰宅時間が遅くなること	150
4	休日の部活動の指導や、大会、コンクール等への引率	111
5	大会、コンクールの運営、審判等	91
6	経験したことのないスポーツ・文化芸術活動を指導すること	90
7	部費などの会計処理	66
8	保護者への対応	110
9	他の顧問や外部指導者との人間関係	41
10	その他	18
	合計	811

「その他」に挙げられた主な意見

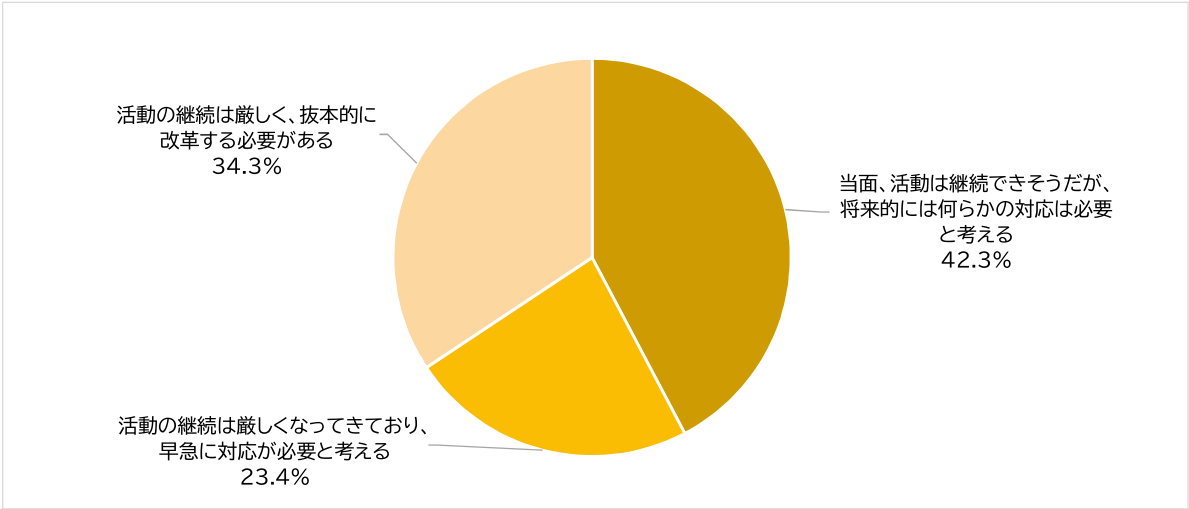
- ・勝てば勝つだけ、大会出場で事務処理などが増えること。
- ・練習の日数や時間の制約があること。
- ・家事や育児の時間がとれず、自分の家族を犠牲にしていること。
- ・部活動にかかる時間に見合った報酬額になっておらず、ボランティアの延長であること。
- ・部員の熱量の差による亀裂の対応や、やる気がない部員への対応。
- ・地域指導者の手配、合同レッスンによる日程調整と保護者・他校顧問とのやりとり。
- ・当たり前のように部活動をしてくれるものだという風潮。
- ・部員の人数に対して顧問が少なすぎる。
- ・生徒の怪我や熱中症等への不安、またそれに伴う責任の大きさ。
- ・希望ではない(指導経験のない)部活の顧問となっていること。

など



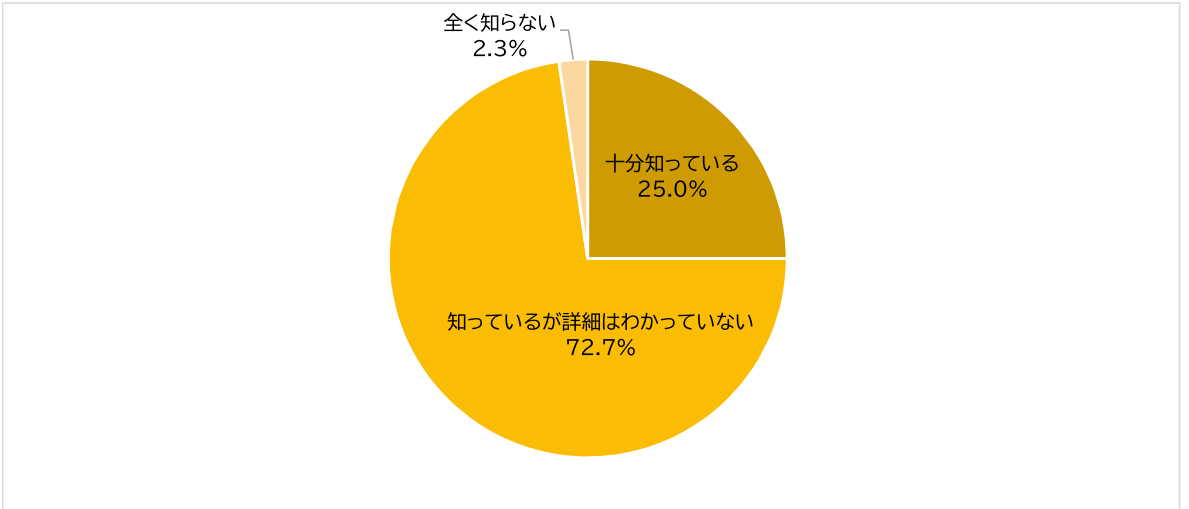
Q8. 現在の勤務校の状況を踏まえ、加古川市の学校部活動の将来について、最も近いご意見は次のどれですか。

選択肢		回答件数
1	当面、活動は継続できそうだが、将来的には何らかの対応は必要と考える	85
2	活動の継続は厳しくなっており、早急に対応が必要と考える	47
3	活動の継続は厳しく、抜本的に改革する必要がある	69
合計		201



Q9. 国が示す休日の部活動の地域移行の内容を知っていますか。

選択肢		回答件数
1	十分知っている	54
2	知っているが詳細はわかっていない	157
3	全く知らない	5
合計		216

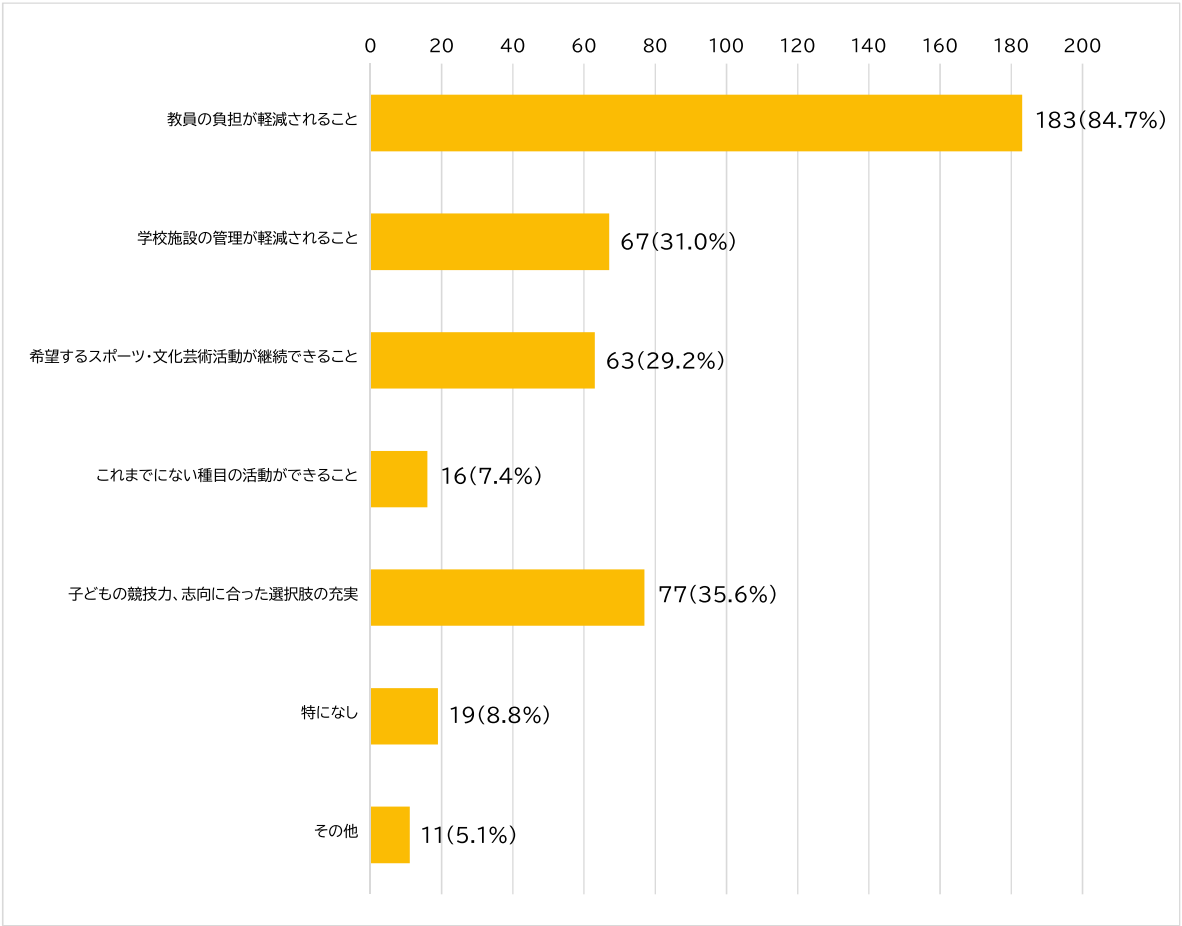


Q10. 国が示す休日の地域移行について、どのようなことに期待していますか。(複数回答可)

選択肢		回答件数
1	教員の負担が軽減されること	183
2	学校施設の管理が軽減されること	67
3	希望するスポーツ・文化芸術活動が継続できること	63
4	これまでにない種目の活動ができること	16
5	子どもの競技力、志向に合った選択肢の充実	77
6	特になし	19
7	その他	11
合計		436

「その他」に挙げられた主な意見

- ・部活動指導が「賃労働」とであると認められることによる教員の待遇改善。
 - ・実施するならばちゃんと制度が制定されること。
 - ・部活動顧問をするかどうかの選択が、教員側に保障されること。
 - ・各種大会(中体連)の廃止。
 - ・子どもたちの活動の充実。
- など



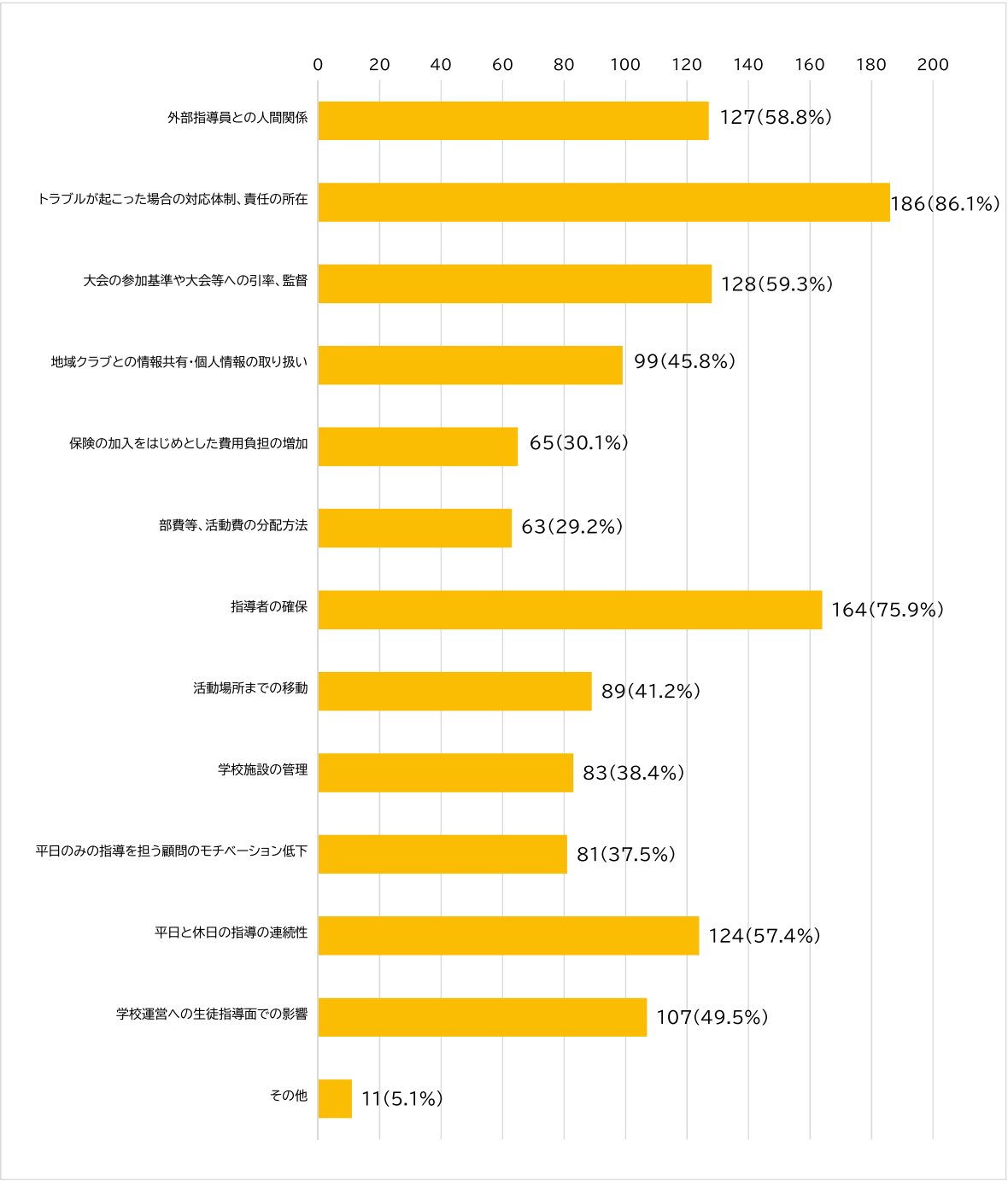
Q11. 国が示す休日の地域移行について、課題・懸案と思うのはどれですか(複数回答可)

選択肢		回答件数
1	外部指導員との人間関係	127
2	トラブルが起こった場合の対応体制、責任の所在	186
3	大会の参加基準や大会等への引率、監督	128
4	地域クラブとの情報共有・個人情報の取り扱い	99
5	保険の加入をはじめとした費用負担の増加	65
6	部費等、活動費の分配方法	63
7	指導者の確保	164
8	活動場所までの移動	89
9	学校施設の管理	83
10	平日のみの指導を担う顧問のモチベーション低下	81
11	平日と休日の指導の連続性	124
12	学校運営への生徒指導面での影響	107
13	その他	11
合計		1327

「その他」に挙げられた主な意見

- ・部活動の学校教育活動からの完全な切り離しが期待できないこと。
- ・大会運営の難しさ(現状教員のみで各種大会・演奏会等を運営しているため)。
- ・練習場所の確保、及び練習場所への道具等の運搬。
- ・地域指導者が確保できなかった際に教員の負担が残ること。
- ・外部指導者とのトラブルや雇用にかかる判断をする責任者の所在。
- ・挨拶や礼儀等、技術指導だけではなく部分の教育のあり方。
- ・中学生競技者の減少。
- ・部費(クラブ費)の管理。

など

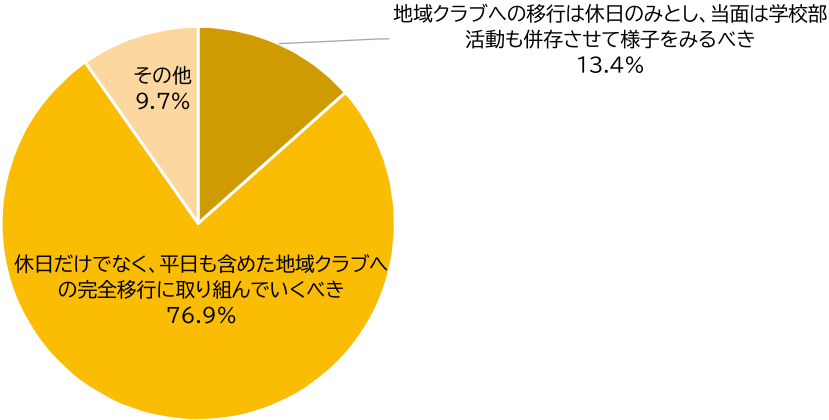


Q12. 加古川市では、部活動について平日を含めた持続可能な地域クラブ活動に転換していくことを検討しています。部活動の地域移行の取り組みとして、あなたの意見に最も近いのは次のどれですか。

選択肢		回答件数
1	地域クラブへの移行は休日のみとし、当面は学校部活動も併存させて様子を見るべき	29
2	休日だけでなく、平日も含めた地域クラブへの完全移行に取り組んでいくべき	166
3	その他	21
合計		216

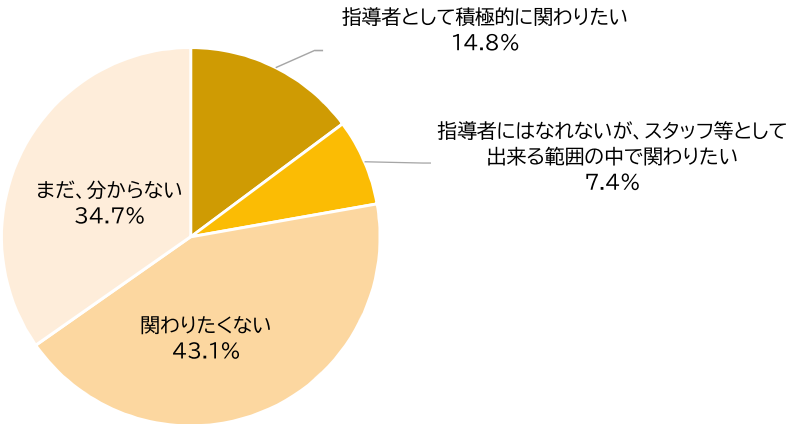
「その他」に挙げられた主な意見

- ・地域指導者確保の難しさが予想される中、持続可能な部活動の実現には教員不足の解消がまず必要だと考える。
- ・指導してくださる方の認識や力量、立場がかなえば、1から2に傾くと考えるが、負担も多い中、なかなか指導者が見つからないと考える。
- ・地域クラブに移行する、という発想だけでなく他校の活動に参加するでもよいのではないか。
- ・部活動の廃止、学校教育活動からの完全な切り離しが必要である。
- ・現顧問に指導希望調査を行い、顧問が希望しない場合は部員の募集を停止するののも一つの方法である。
- ・すべての種目を同一のラインにせず、各種目で検討を行っていくべき。その中には、地域移行が難しい種目もあると思うので、行わないという種目があってもいいと考える。
- ・基本的には完全移行で賛成だが、顧問をしたい教員が参画できる仕組みにしてほしい。
- ・学校から部活を完全に切り離し、地域クラブではなく、野球やサッカーなどのクラブチームのように独立採算制の企業体として各スポーツが立ち上げる。立ち上がりそうにないスポーツに関しては各種スポーツ協会が尽力する。スポーツがしたい教員は自分でチームを立ち上げるといった方法が良いと考える。
- ・平日の時間制限、休日の時間制限をし、教員の負担をできるだけ軽減させる。子どもたちは学校と地域クラブどちらともに所属可能。ただし、どちらか一方でのみ公式試合は参加可とするような移行の仕方を提案する。
- ・課題が多いと考えているため、結論を急がずしっかり対策を考えてから移行するべきであると考えてる。など



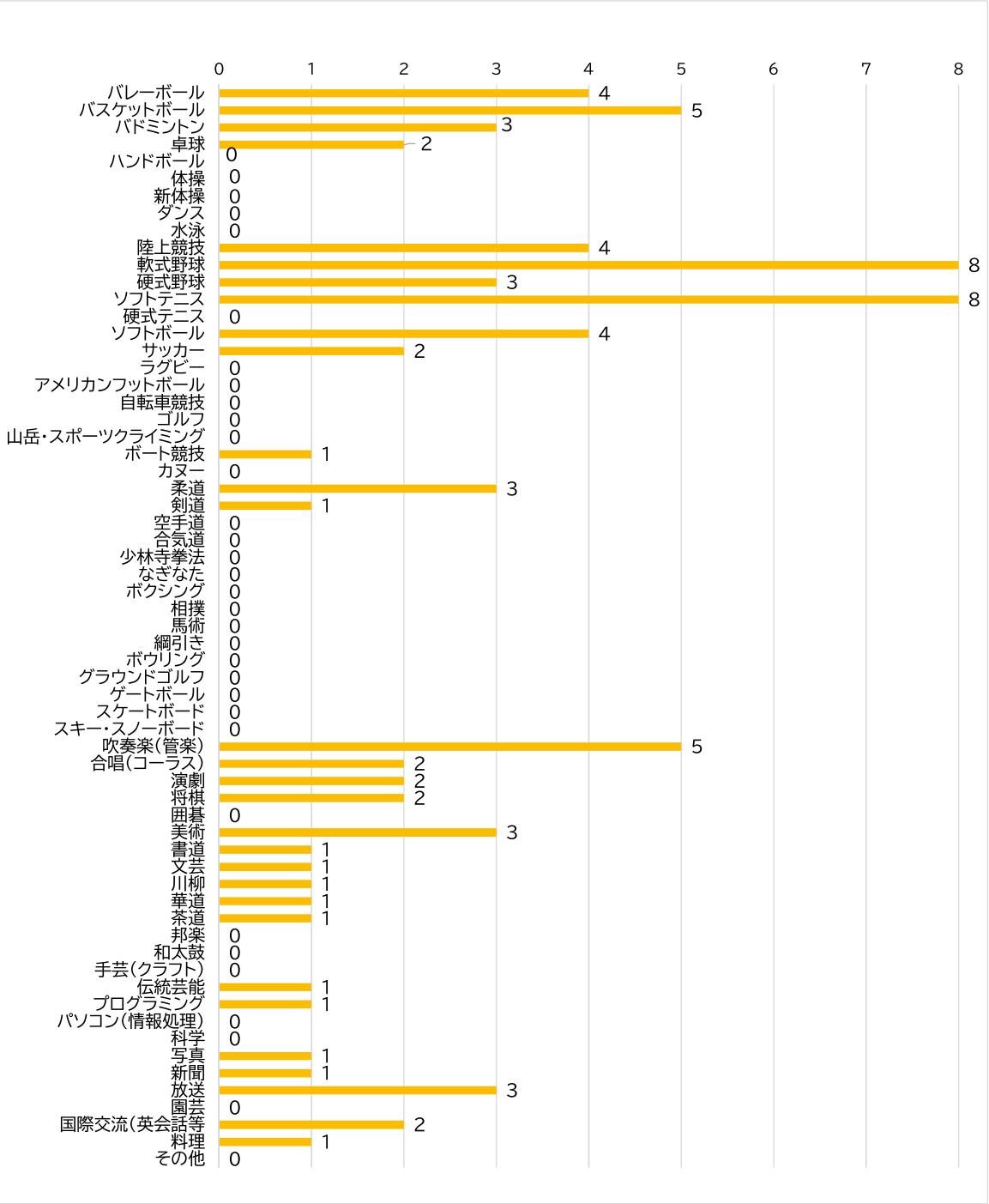
Q13. 地域移行後の新たな地域クラブとの関わりについて、ご意見に最も近いのは次のどれですか。

選択肢		回答件数
1	指導者として積極的に関わりたい	32
2	指導者にはなれないが、スタッフ等として出来る範囲の中で関わりたい	16
3	関わりたくない	93
4	まだ、分からない	75
合計		216



Q14. 上記Q13で「1・2」を選択された方は、どの種目において関わりたいですか。(複数選択可)

選択肢	回答件数
1 バレーボール	4
2 バスケットボール	5
3 バドミントン	3
4 卓球	2
5 ハンドボール	0
6 体操	0
7 新体操	0
8 ダンス	0
9 水泳	0
10 陸上競技	4
11 軟式野球	8
12 硬式野球	3
13 ソフトテニス	8
14 硬式テニス	0
15 ソフトボール	4
16 サッカー	2
17 ラグビー	0
18 アメリカンフットボール	0
19 自転車競技	0
20 ゴルフ	0
21 山岳・スポーツクライミング	0
22 ボート競技	1
23 カヌー	0
24 柔道	3
25 剣道	1
26 空手道	0
27 合気道	0
28 少林寺拳法	0
29 なぎなた	0
30 ボクシング	0
31 相撲	0
32 馬術	0
33 綱引き	0
34 ボウリング	0
35 グラウンドゴルフ	0
36 ゲートボール	0
37 スケートボード	0
38 スキー・スノーボード	0
39 吹奏楽(管楽)	5
40 合唱(コーラス)	2
41 演劇	2
42 将棋	2
43 囲碁	0
44 美術	3
45 書道	1
46 文芸	1
47 川柳	1
48 華道	1
49 茶道	1
50 邦楽	0
51 和太鼓	0
52 手芸(クラフト)	0
53 伝統芸能	1
54 プログラミング	1
55 パソコン(情報処理)	0
56 科学	0
57 写真	1
58 新聞	1
59 放送	3
60 園芸	0
61 国際交流(英会話等	2
62 料理	1
63 その他	0
合計	77

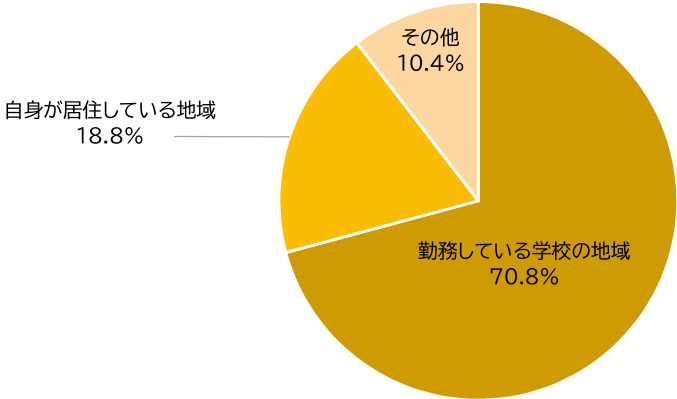


Q15. 上記Q13で「1・2」を選択された方は、どこで活動したいですか。

選択肢		回答件数
1	勤務している学校の地域	34
2	自身が居住している地域	9
3	その他	5
合計		48

「その他」に挙げられた主な意見

- ・加古川市内、あるいは東播磨管内
- ・どこでもかまわない
- など



Q16. 部活動の地域移行および新たな地域クラブ活動のあり方について、ご意見等がございましたらお書きください。

《主な回答内容》

- ・学校で活動するので学校のルールやマナーを守って活動するべきだと思う。
- ・業務改善を行うのなら、部活動以外のことも考え直す必要があると思う。
- ・そもそも部活動は学校の教育活動ではない、というのが持論である。
- ・部活動をしたい生徒や教員にとって、本当に生徒のため、教員のためになることなのかを考えて検討していただきたい。部活動がなくなったときに、不登校生徒は今以上に増えると思う。
- ・部活動顧問を希望しない教員が、顧問をしないことを選択できるようにするべき（現在、業務外のはずなのにほぼ強制になっているため）。
- ・各学校での部活数（競技数）の削減。
- ・定期的に進捗状況を知らせてほしい。
- ・地域を東西南北で4分割して、拠点校に集まってという形で平日も顧問をしたい人だけで部活動するのは難しいのか。平日も長いときは2時間以上部活動時間がある。その時間に仕事ができたらどれだけみなさん早く帰られるか。平日であっても、当たり前にも顧問をしないといけない状態を覚えてほしい。
- ・いろんなチームができることで生徒の競技レベルに応じたチームで活動でき、生徒の自己有用感も上がると思う。それに加え、マイナースポーツや各競技の入り口としてドイツのスポーツシューレのように地域が主体となっていていろんなスポーツを独立採算で運営していく方向も必要であると考え、スポーツ21の活性化も大切である。
- ・移行に伴う様々なトラブルをある程度シュミレーションした上で、しっかりと生徒、保護者の需要に応えられるようにしていただけたらと思う。生徒が満足する活動になれば、問題も少ないと考える。
- ・部活動の在り方を含めた移行化に向けた指針を、市内で保護者・生徒に向けて示してもらいたい。
- ・放課後の活動は学校の管理下から外し、習い事と同じ形をとってほしい。その後、協力したい教師はたくさんいると思う。
- ・あくまでも課外活動であるにも関わらず、部活動が中心で登校している生徒もいるので、部活動のあり方そのものについて生徒・保護者・教師・地域それぞれ再認識する必要があると思う。
- ・地域の指導者が技術指導する際、トラブルが発生すれば、学級担任や学年、学校が対応せざるを得ない状況になりそうで心配である。また、現状では大会の運営や審判を教員が行っているが、地域移行すると大会役員の人数が確保できず、教員頼みになると考えられる。
- ・今の子供たちを取り巻く環境で抱える問題として、コミュニケーション力の低下による人間関係のトラブル、それから引きこるいじめや不登校数の増加。運動する機会の減少や時間、場所の減少により、体力の低下が著しく、ケガ事故が非常に多くなっている。ノー部活の時間を有効活用できている生徒や家庭もあれば、逆にネット依存、ゲーム依存の子供たちが増えている状況がある。良い習慣作りをしていくことが、小学生や中学生の時期は特に必要ではないかと思う。時間の余裕ができれば、それに対応できる家庭は一部の家庭でしかない。家族の在り方や働き方も多様になる中で、子どもたちを支える、環境や制度を公教育の場（地域移行でのクラブチームなど）が担っていくことが必要ではないかと思う。
- ・国の方針を見ると、現場にいる教職員の実態がうまく把握されていないように感じる。これまでの体系があったからこそ、今もなお運営ができていますが、それを根本から変えようとするならば、既存の枠組みは一度取り払う必要があると考える。
- ・教員の善意や良心に任せて、相応の対価が支払われていないと思う。金銭面だけではないが、これだけ働いても十分な対価が支払われず、「強制はしていない」「自主的な活動」と片付けられていることが違和感がある。
- ・そもそも部活動をしている時点で絶対に定時に退勤する事ができない事があかしく、全て賃金が支払われないサービス残業で成り立たせようとしているもののそれを超えている。
- ・難しい問題ではあるが、教員の負担と専門的な指導力を望む生徒のことを考え、迅速な対応を希望する。
- ・クラブチーム等での活動だと実力主義のところが見受けられるので、部活動で行っていたような、1人1人の個性を大切にし、プレイが上手ではない生徒にも学びがあるような活動を行ってもらえたらと思う。
- ・部活動顧問をするために教員になった方、部活動をしたい（させたい）生徒（保護者）がいることは承知しているが、学校の主たる活動はあくまでも学習であり、現状の部活動は他の教育活動および教員やその家族の多大な犠牲のもとで成り立っている。こうした現状を放置せず、国の方針に従って肅々と地域移行を進めていただくようお願いしたい。
- ・学校にはなかったクラブの活動分野が拡大するなど、子どもたちにとっては、無限の可能性が期待できるので良い方向に向いてほしい。
- ・「部活動の地域移行」という考え方、そのものが様々な課題を作り出しているように感じる。「中学校部活動の廃止」という方向にすべきだと考える。部活動を廃止にすると、地域はそれに代わる団体やチームをつくる動きが必ず起こる（起こす必要がある）と考える。発起人は教員かもしれないし、地域の方かもしれないが、部活動がなくなるのであれば、それに代わる活動を支援してくださる方は多くいると思う。その団体やチームの発足や活動場所の確保などに自治体は支援をすればよいのではないかと思う。小学校の運動場や体育館を練習会場としている野球、ソフトボール、サッカーやバレーボール、バスケットボールなどの小学生のチームは山ほどある。その「中学生対象」のものをつくるだけで、多くの問題や課題の解消につながるのではないか。
- ・生涯運動に関われるきっかけとなるよう、生徒たち自身が自発的、能動的に参加し有意義な活動ができるように配慮するべきかと思う。勝利至上主義や半強制的な大会への参加、指導者が注目されるような状況などが無いように改革されることを期待する。
- ・地域移行をすすめるのであれば、グラウンドを含めた学校施設の開放が必要である。
- ・これまで同様に、平日、休日とも希望すれば教師による部活動指導ができればと強く思う。部活動の指導を通して、中学生と感動を共有できることが、わたしにとって、教師生活を元気に頑張れるエネルギーの源である。中学生とともに元気に部活動ができるのであれば、私自身が月々指導をさせていただくための部活動運営費を支払っても構わない。「休日の指導をしてはいけない。指導に関わらないで、平日の指導のみにしてください。」となれば、部活動指導を希望しない。しかし、私自身50代半ばに差し掛かり、田舎の父母の介護や、私自身や配偶者の健康面も不安になるときもあるかと思う。そのようなときは、地域の方々へ部活動を応援していただき支えていただければと思う。すべての教師が部活動の指導に関わらなくてはいけないところが大きな問題点だと感じている。部活動の指導はあくまで希望性にするべきだと思う。